2020年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年８月14日

上場会社名	株式会社フォーサイド		上場取引所　東
コード番号	2330　　ＵＲＬ　https://www.forside.co.jp/		
代表者	（役職名）代表取締役	（氏名）根津　孝規	
問合せ先責任者	（役職名）常務取締役	（氏名）飯田　潔	ＴＥＬ　03（6262）1056
四半期報告書提出予定日	2020年８月14日	配当支払開始予定日　―	

四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　　　：有

（百万円未満切捨て）

１．2020年12月期第２四半期の連結業績（2020年１月１日～2020年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第２四半期	1,889	△1.8	△97	―	△51	―	△346	―
2019年12月期第２四半期	1,924	6.7	2	―	23	―	△111	―

（注）包括利益　2020年12月期第２四半期　△320百万円（ ― %）　2019年12月期第２四半期　△246百万円（ ― %）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第２四半期	△10.66	―
2019年12月期第２四半期	△3.56	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第２四半期	3,555	1,096	30.4	33.21
2019年12月期	3,687	1,425	38.0	43.08

（参考）自己資本　2020年12月期第２四半期　1,080百万円　2019年12月期　1,401百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2020年12月期	―	0.00			
2020年12月期（予想）			―	―	―

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
（注）2020年12月期の期末配当は今後の業績見通し等を踏まえて判断することにしているため未定であります。

３．2020年12月期の連結業績予想（2020年１月１日～2020年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	―	―	―	―	―	―	―	―	―

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期２Ｑ	32,557,704株	2019年12月期	32,557,704株
②　期末自己株式数	2020年12月期２Ｑ	15,474株	2019年12月期	15,314株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期２Ｑ	32,542,315株	2019年12月期２Ｑ	31,382,965株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は今後の様々な要因によって予想と大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（追加情報） …… 10
（セグメント情報等） …… 11
（重要な後発事象） …… 13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け2020年４月７日に緊急事態宣言が発出される等、景気は急速に悪化し、極めて厳しい状況にあります。緊急事態宣言解除後は、経済活動のレベルを段階的に引き上げていますが、新型コロナウイルス感染症の第２波も懸念されており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域であるプライズゲーム市場におきましては、国や地方自治体からの休業要請に基づき、アミューズメント施設の多くが感染拡大防止のため休業いたしました。休業要請解除後は、段階的に営業を開始しておりますが、社会全体の行動様式の変化を受け、来店者数は回復傾向にあるものの、今後の動向を注視していく必要があります。一方で、外出自粛が追い風となり、オンラインクレーンゲームのユーザー数は増加傾向にあり、更なる需要拡大が期待されています。住宅市場におきましては、2020年6月の新設住宅着工戸数が前年同月比12.8％の減少となり、前年同月比で12ヶ月連続の減少となりました。また、貸家着工戸数においても、前年同月比で22ヶ月連続の減少となり、今後も低調な推移が続くことが予想されます。

このような経済状況の中、当社グループはプライズ事業、不動産関連事業、投資銀行事業を中心に、収益の一層の拡大に取り組んでまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、営業活動の自粛を余儀なくされたことで、販売計画の実行に影響が生じる一方、一層の原価及び販管費の抑制に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、新型コロナウイルス感染拡大による影響を受けたものの、不動産関連事業が堅調に推移したことにくわえ、第1四半期連結累計期間より映像制作事業が新たに加わったこと等により、営業収益は1,889,854千円（前年同期比1.8％減）となりました。

利益については、営業収益の減少や投資銀行事業での案件成約数が当初計画に対し低調に推移し、固定費の見直しを図る等の一層の対応を図りましたが、営業損失は97,430千円（前年同期は営業利益2,516千円）となりました。経常損益は保険解約返戻金や持続化給付金を計上したこと等により51,403千円の経常損失（前年同期は経常利益23,814千円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は固定資産及びのれんの減損損失、貸倒引当金繰入額並びに投資有価証券評価損を計上したこと等により346,988千円の親会社株主に帰属する四半期純損失（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失111,642千円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①プライズ事業

プライズ事業につきましては、主に株式会社ブレイクがクレーンゲーム機等のプライズゲーム用景品の企画・製作・販売を行っております。

当第２四半期連結累計期間においては、2020年４月以降、取引先の多くが休業を余儀なくされたことにより、G.Wに向けた販売実績が低調に推移いたしました。休業要請解除後は、取引先の営業再開に伴い、出荷を再開しております。

以上の結果、売上高は857,383千円（前年同期比18.3％減）、セグメント利益は48,188千円（前年同期比32.9％減）となりました。

②不動産関連事業

不動産関連事業につきましては、主に日本賃貸住宅保証機構株式会社が家賃保証業務及び物件管理業務を行っております。

当第２四半期連結累計期間においては、2020年４月の民法改正等により、家賃保証事業者のニーズが高まり、営業活動が制限される中においても、新規獲得件数及び保証債務残高は堅調に推移いたしました。なお、新型コロナウイルスの影響で貸借人の雇止めや収入の減少等により、家賃滞納者が増加することが予想されましたが、公的支援制度の整備が進んだこと等により、当第２四半期連結累計期間において、顕著な増加はありませんでした。

以上の結果、売上高は659,086千円（前年同期比5.5％増）、セグメント利益は10,245千円（前年同期はセグメント損失625千円）となりました。

③投資銀行事業
　投資銀行事業においては、主にフォーサイドフィナンシャルサービス株式会社がM＆Ａのアドバイザリー業務を行っております。
　当第２四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの影響で営業活動が大幅に制限され、厳しい状況が続いております。案件及びクライアントを国内にしぼり、成約に注力いたしましたが、売上高及びセグメント利益ともに大幅に減少いたしました。
　以上の結果、売上高は7,787千円（前年同期比90.4％減）、セグメント損失は53,629千円（前年同期はセグメント利益39,258千円）となりました。

④コンテンツ事業
　コンテンツ事業においては、株式会社モビぶっくが主に電子書籍配信サイト「モビぶっく」の運営を行い、フォーサイドメディア株式会社が映像制作事業を行っております。
　当第２四半期連結累計期間においては、在宅での娯楽需要の高まりをうけ、電子書籍配信サイト「モビぶっく」における売上は堅調に推移し、利益を確保しております。映像制作事業においては、緊急事態宣言の発出により屋内外を問わず、多くの撮影が延期又は中止になる等、多大な影響がでております。なお、緊急事態宣言解除後は、新型コロナウイルス対策を講じた上で、撮影を順次再開しております。
　以上の結果、売上高は217,534千円（前年同期比151.8％増）、セグメント損失は7,704千円（前年同期はセグメント利益9,902千円）となりました。

⑤イベント事業
　イベント事業においては各地の大型商業施設の催事場にて著名なコンテンツの展示販売を中心に行っております。
　当第２四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの影響で、いくつかのイベントにおいて中止や延期が余儀なくされ、想定した売上計画を達成することが出来ませんでした。
　以上の結果、売上高は59,529千円（前年同期比0.6％減）、セグメント損失は8,096千円（前年同期はセグメント損失7,047千円）となりました。

⑥マスターライツ事業
　マスターライツ事業においては、株式会社マーベラスアーク、フォーサイドメディア株式会社が主に音楽関連事業、出版事業を行っております。
　当第２四半期連結累計期間においては、対面でのライブ活動が制限される中で、新たな取り組みとして、無観客ライブの配信やオンラインでのグッズ販売を開始し、好調に推移いたしました。出版事業においては、緊急事態宣言の発出により撮影が行えず、2020年８月号の休刊を余儀なくされましたが、2020年10月号での復刊に向けて準備を進めております。
　以上の結果、売上高は87,188千円（前年同期は2,185千円）、セグメント損失は469千円（前年同期はセグメント損失34,357千円）となりました。

⑦その他の事業
　その他の事業においては、主にフォーサイドフィナンシャルサービス株式会社が金融事業を行っております。
　当第２四半期連結累計期間においては、貸付金の回収に注力し、販売管理費用の抑制に努めました。
　以上の結果、売上高は1,343千円（前年同期比93.5％減）、セグメント利益は1,193千円（前年同期比93.9％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて132,401千円減少し3,555,426千円となりました。主な要因と致しましては、現金及び預金の増加166,033千円、投資有価証券の減少182,940千円及びのれんの減少170,050千円等によるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べて196,183千円増加し2,458,443千円となりました。主な要因と致しましては、長期借入金（1年以内返済予定含む）の増加175,614千円等によるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べて328,585千円減少し1,096,983千円となりました。主な要因と致しましては、親会社株主に帰属する四半期純損失346,988千円を計上したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて166,033千円増加し、632,833千円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、118,093千円の支出（前年同期は69,406千円の収入）となりました。主な要因と致しましては、売上債権が101,952千円減少したものの、税金等調整前四半期純損失342,998千円を計上したことや代位弁済の増加に伴い立替金が176,146千円増加したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、193,600千円の収入（前年同期は538,545千円の収入）となりました。主な要因と致しましては、投資有価証券の売却による収入166,323千円を計上したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第２四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、90,902千円の収入（前年同期は663,979千円の支出）となりました。主な要因と致しましては、長期借入による収入200,000千円を計上したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の連結業績予想につきましては、2020年５月15日に公表いたしました「営業外収益及び特別損失の計上並びに連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、新型コロナウィルス感染症拡大による影響が不透明であり業績予想の合理的な算出が困難なため、2020年２月14日に公表した通期業績予想を一旦取り下げ、未定とさせていただき算出が可能となった段階で速やかに公表させていただきます。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2020年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	466,799	632,833
受取手形及び売掛金	591,570	489,519
商品	168,037	333,388
短期貸付金	62,743	48,138
収納代行未収金	936,738	1,025,342
代位弁済立替金	497,441	674,373
その他	123,154	128,910
貸倒引当金	△393,928	△543,109
流動資産合計	2,452,555	2,789,395
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	184,512	125,890
土地	164,486	153,155
その他（純額）	15,986	15,235
有形固定資産合計	364,985	294,281
無形固定資産		
ソフトウエア	61,178	51,211
のれん	173,013	2,962
その他	18	18
無形固定資産合計	234,209	54,192
投資その他の資産		
投資有価証券	208,900	25,959
長期貸付金	334,816	374,944
敷金	51,221	46,136
長期未収入金	0	30,500
その他	45,443	6,607
貸倒引当金	△4,302	△66,590
投資その他の資産合計	636,078	417,557
固定資産合計	1,235,273	766,031
資産合計	3,687,828	3,555,426

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2020年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	174,776	189,263
未払金	936,720	1,017,142
未払法人税等	27,232	20,592
前受収益	415,213	442,534
短期借入金	120,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	39,487	40,471
債務保証損失引当金	110,970	111,600
賞与引当金	－	8,500
その他	253,237	232,565
流動負債合計	2,077,638	2,097,669
固定負債		
長期借入金	178,002	352,633
利息返還損失引当金	6,318	6,547
その他	300	1,592
固定負債合計	184,621	360,773
負債合計	2,262,259	2,458,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,432,534	1,432,534
資本剰余金	1,973,659	1,973,648
利益剰余金	△1,977,531	△2,324,520
自己株式	△3,380	△3,388
株主資本合計	1,425,281	1,078,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△23,328	2,927
為替換算調整勘定	△140	△317
その他の包括利益累計額合計	△23,468	2,609
新株予約権	23,755	16,100
純資産合計	1,425,568	1,096,983
負債純資産合計	3,687,828	3,555,426

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2019年１月１日 至　2019年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2020年１月１日 至　2020年６月30日）
営業収益		
売上高	1,299,061	1,229,332
その他の営業収益	625,926	660,521
営業収益合計	1,924,987	1,889,854
営業原価		
売上原価	877,848	878,742
その他の原価	171,821	179,977
営業原価合計	1,049,669	1,058,719
売上総利益	875,317	831,134
販売費及び一般管理費	872,801	928,564
営業利益又は営業損失（△）	2,516	△97,430
営業外収益		
受取利息	5,033	4,315
保険解約返戻金	8,210	36,501
貸倒引当金戻入額	6,354	255
その他	5,302	7,502
営業外収益合計	24,900	48,573
営業外費用		
支払利息	1,634	910
支払手数料	－	683
その他	1,968	953
営業外費用合計	3,602	2,546
経常利益又は経常損失（△）	23,814	△51,403
特別利益		
投資有価証券売却益	－	3,380
新株予約権戻入益	－	7,655
特別利益合計	－	11,035
特別損失		
減損損失	－	208,961
貸倒引当金繰入額	－	40,000
投資有価証券評価損	－	26,880
投資有価証券売却損	－	22,914
固定資産売却損	－	3,873
特別損失合計	－	302,630
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	23,814	△342,998
法人税、住民税及び事業税	38,501	3,989
法人税等調整額	245,825	－
法人税等合計	284,326	3,989
四半期純損失（△）	△260,512	△346,988
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△148,870	－
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△111,642	△346,988

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2019年１月１日 至　2019年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2020年１月１日 至　2020年６月30日）
四半期純損失（△）	△260,512	△346,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,112	26,255
為替換算調整勘定	△73	△177
その他の包括利益合計	14,038	26,078
四半期包括利益	△246,473	△320,910
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97,603	△320,910
非支配株主に係る四半期包括利益	△148,870	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2019年１月１日 至　2019年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2020年１月１日 至　2020年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	23,814	△342,998
減価償却費	27,360	22,156
減損損失	－	208,961
のれん償却額	35,524	18,969
貸倒引当金の増減額（△は減少）	91,978	211,468
受取利息及び受取配当金	△5,033	△4,315
支払利息	1,634	910
為替差損益（△は益）	△613	△185
保険解約返戻金	－	△36,501
新株予約権戻入益	－	△7,655
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	－	46,415
固定資産売却損益（△は益）	－	3,873
売上債権の増減額（△は増加）	37,864	101,952
たな卸資産の増減額（△は増加）	26,293	△165,412
仕入債務の増減額（△は減少）	△49,881	14,521
賞与引当金の増減額（△は減少）	△924	8,500
債務保証損失引当金の増減額（△は減少）	4,660	630
事業整理損失引当金の増減額（△は減少）	△10,708	-
利息返還損失引当金の増減額（△は減少）	166	228
立替金の増減額（△は増加）	△122,360	△176,146
前受金の増減額（△は減少）	66,429	27,652
前渡金の増減額（△は増加）	13,184	2,664
未収入金の増減額（△は増加）	△117,680	△68,212
長期未収入金の増減額（△は増加）	－	△30,500
未払金の増減額（△は減少）	26,420	80,312
未払費用の増減額（△は減少）	19,182	△5,084
未払法人税等（外形標準課税）の増減額（△は減少）	27,863	△164
その他	54,558	△33,140
小計	149,734	△121,101
利息及び配当金の受取額	4,606	672
利息の支払額	△1,644	△1,399
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△83,290	3,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,406	△118,093
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,919	△7,678
有形固定資産の売却による収入	－	34,782
無形固定資産の取得による支出	△3,439	△850
事業譲受による支出	－	△50,602
投資有価証券の取得による支出	－	△2,250
投資有価証券の売却による収入	－	166,323
保険積立金の払戻による収入	9,629	76,888
敷金の差入による支出	△266	-
敷金の回収による収入	500	1,800
貸付けによる支出	△248,514	△61,560
貸付金の回収による収入	793,258	36,747
のれんの取得による支出	△3,703	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	538,545	193,600
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△86	△34
自己株式の処分による収入	34	14
短期借入金の純増減額（△は減少）	23,775	△85,000
長期借入れによる収入	10,799	200,000
長期借入金の返済による支出	△122,501	△24,077
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△576,000	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△663,979	90,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	832	△375
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△55,194	166,033
現金及び現金同等物の期首残高	489,140	466,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	433,946	632,833

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）

新型コロナウイルス感染症の影響について、今後の広がり方や収束時期等に関して先行きを予測することは困難でありますが、当社グループでは、現時点で入手可能な外部情報等に基づき、当該感染症の影響は第３四半期以降、徐々に回復するものと仮定して、固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自2019年１月１日　至2019年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他 （注）１
	プライズ	不動産関連	投資銀行	コンテンツ	イベント	マスター ライツ	
売上高							
外部顧客への売上高	1,049,601	624,921	81,300	86,397	59,889	2,185	20,692
セグメント間の内部 売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―
計	1,049,601	624,921	81,300	86,397	59,889	2,185	20,692
セグメント利益又は セグメント損失（△）	71,855	△625	39,258	9,902	△7,047	△34,357	19,481

（単位：千円）

	合計	調整額 （注）２	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）３
売上高			
外部顧客への売上高	1,924,987	―	1,924,987
セグメント間の内部 売上高又は振替高	―	―	―
計	1,924,987	―	1,924,987
セグメント利益又は セグメント損失（△）	98,466	△95,950	2,516

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業その他を含んでおります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△95,950千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自2020年１月１日　至2020年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他 （注）１
	プライズ	不動産関連	投資銀行	コンテンツ	イベント	マスターライツ	
売上高							
外部顧客への売上高	857,383	659,086	7,787	217,534	59,529	87,188	1,343
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－
計	857,383	659,086	7,787	217,534	59,529	87,188	1,343
セグメント利益又はセグメント損失（△）	48,188	10,245	△53,629	△7,704	△8,096	△469	1,193

（単位：千円）

	合計	調整額 （注）２	四半期連結損益計算書計上額 （注）３
売上高			
外部顧客への売上高	1,889,854	－	1,889,854
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	1,889,854	－	1,889,854
セグメント利益又はセグメント損失（△）	△10,272	△87,157	△97,430

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融事業その他を含んでおります。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△87,157千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間から「フィンテック関連」については、量的な重要性が低下したため「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第２四半期連結累計期間のセグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。